

有機農産物運動で日本は後進国

有機農産物について、日本が金持ちで贅沢になったから有機農産物に関心を持つ人が増えたと思っている人が多い。有機農産物は手間がかかり生産費が高くなって、貧乏な国ではとても取り組めるような運動ではないと思われる。ところが、開発途上国、インドネシアやタイなどアジアの国々で、また、ブラジルなどラテンアメリカの国々でも有機農産物運動が盛んになっている。日本よりはるかに貧しい国でも有機農産物運動はかなり盛んで、町の中にも有機米を専門に売っている店もある。

開発途上国で有機農産物に興味を持つのがどういう理由かは、日本と全く同じで、例えばインドネシアで一番キーになっているのは農薬問題である。ちょうど日本では1960年代に、農家をはじめとした農薬問題、農薬による健康被害が随分と騒がれたと同じような問題が、インドネシアで80年代半ばに起きている。

開発途上国でも、有機でやっている農産物の値段は若干高い。それでも日本以上に有機農産物に対する関心が高く、多くの人によって購入されている。まだ1%か1%を少し超えた程度の普及率であるが、かなり広範な運動体が出来上がっている。中国でもそうした運動は出てきている。中国では有機野菜が緑色野菜と呼ばれ、少しずつ広まってきている。まだ安いものが多いという流れが主流であるが、他方で有機農産物に代表されるような流れが世界中でふつふつと起こってきている。それがどの程度の広がりを持つようになっていくかは未知数であるが、例外的な動きではなく、世界的な潮流になってきている。有機農産物の普及という点では、日本は世界的な比較ではかなり遅れた国といえる。有機農産物の普及という点からみると日本はまだ高度成長の時代の価値観からの訣別ができず、いつまでも経済主義にとらわれた国といえるであろう。

日本は高度成長の過程で、日本社会は、個人が共同体というか企業共同体的の中に取り込まれてしまったような状況になった。この共同体を守るためには多少悪いこととしてしょうがない、皆で隠してしまう体質を持った社会になっている。三菱自動車の例、その他の雪印の話にしても、また食品にかかわる不祥事をみても、道徳的にひどく遅れた体質の国になっている。日本人には、社会的に相当ひどい、あくどい事をやっても、自らの生活を守るために、企業を守るためには身内の不祥事は隠さな

ければならないという考えが強い。これは日本社会の特質といえるようなものになっている。内の恥を外に出すなという考えの下では、係内の恥を課長にも知らせないようになり、課内での不祥事を部長に知らせなくなり、結局トップは社内の大事な問題を全く把握できなくなり、エコノミックアニマル的な慣習と惰性に従った判断しかできなくなってしまっている。日本ではこうした問題がいたるところにある。

市場原理主義ともいえるような経済効率一辺倒の流れの下では、WTO体制に従って世界的に最も安いものが流れ込むことになり、長期的にいえば、日本の食糧生産は消滅していくであろう。農業というのは基本的に土地に依存している。アジアの農業経営耕地規模は平均していえば1 haである。大雑把に言ってヨーロッパの規模はその10倍から20倍、アメリカ、オーストラリアでは100倍以上で桁が二桁違う。日本では農業の構造改革によって規模を拡大し、国際競争力をつけるといってきたが、ヨーロッパ、アメリカでも日本以上のスピードで規模拡大が進んでいる。競争相手が立ち止まっていたらやがて追いつくという論理はあるが、相手の拡大のスピードが速いのは、差は開くばかりでいつまでたっても追いつくことはできない。

規模は必ずしも経済効率の唯一の要因ではないが、農業の場合には規模、土地面積規模が決定的である。数百パーセントという途方もない関税率でとりあえず守っても、経済効率一辺倒では、長期的に生き残ることはできない。生き残るためには経済効率とは違った価値観のもとで生きて行く以外にはないのである。

世界中で多くの人々が経済効率一辺倒の価値観に疑問を持ち始めている。有機農産物の運動にはこうした社会的価値観の変化が反映されている。農業者は、こうした流れに棹^{さお}をさして、有機農産物を広めるという方向に力を注ぐべきだと思う。手間ひまかかる、値段が今のところ安いからそんなにプレミアムがつかない、普通の農産物に比べて1割か2割しか高くないから、割に合わないなどという考えは、自らが経済効率一辺倒の価値観、日本農業を消滅させる価値観を受け入れた考え方である。

有機農産物はすべての農業者にとって他人事ではない問題を提起している。有機農業には過重な労働力を要するなど克服すべき多くの問題があるが、そこに込められた新しい価値観を広める運動に日本の農業者は自分たちの生き残りをかけて取り組む必要がある。

(日本大学生物資源科学部教授 大賀圭治・おおがけいじ)